

報道関係者 各位

中小企業の技術・素材とデザイナーのアイデアが、ものづくりの未来を創る 2020年度 東京ビジネスデザインアワード 企業からのテーマ募集開始 東京発・企業参加型のデザインコンペティション

東京都内の中小製造業活性化策として、東京都が主催し、公益財団法人日本デザイン振興会が企画・運営を行う東京ビジネスデザインアワードは、4月14日(火)より、本年度のアワードテーマとなる、都内中小企業の持つ「技術」「素材」を募集します。集まったテーマは、審査を経て10程度に選定され、それぞれのテーマに対してデザイナーより提案を募り、プレゼンテーション方式の最終審査を経て、最優秀賞・優秀賞を決定します。アワード終了後も、適切なサポートを提供することで、継続的に事業提案の実現を目指していきます。

※今後の状況によっては、スケジュールの延期やイベントが中止になる可能性があります。ホームページなどで最新の情報をご確認下さいませようお願いします。

アワードの流れ(予定)

4月 企業からのテーマを募集

9月 デザイナーからの提案を募集

11月 提案を審査

12月 マッチング成立(テーマ賞決定)

2月 提案プレゼン最終審査
(最優秀賞・優秀賞決定)

【本アワードの特徴】

- ・都内ものづくり中小企業の技術・素材をテーマに、デザイナーが商品単体ではなく事業全体を提案。自社ブランド立ち上げや既存事業の価値向上を図ることができる。
- ・経営者とデザイナーが密に協業することで企業の経営資源活用やブランド構築に向けたプロセスを積み上げられる。
- ・本年度で9年目を迎え、経済産業省・特許庁より発表された「『デザイン経営』宣言」をはじめとしたデザインを経営に取り入れる動きをいち早く実現。
- ・アワード終了後も1年間、知財や商品開発・販路拡大などに関する専門家からのアドバイスを中心に、商品化、事業化に向けた支援および販売促進を支援。
- ・商品化、事業化事例は18件を数え、2年で40万本を売り上げる大ヒット商品も誕生。
(下記参照)



2016年度優秀賞・テーマ賞受賞「wemo(ウエモ)」

油性ボールペンで書け、消しゴムや指で消すことができ、何度でも使用できる、腕に巻いて使用できるメモ「ウェアラブルメモ」。日本文具大賞優秀賞も受賞。発売以来2年間で、国内外で累計40万本を売り上げる大ヒットに。 www.wemo.tokyo/

2019年度 東京ビジネスデザインアワード 最優秀賞受賞作紹介



企業:株式会社セルファイバ(文京区)

企業からの応募テーマ

生きた細胞をものづくりの材料に変える
「細胞ファイバ技術」



デザイナーからの提案

新規培養技術による
「酒づくりイノベーション」

プランナー:清水 寛 [ヤフー株式会社]

デザイナー:清水大輔 [SHIMIZUDESIGN]

ゲルチューブに細胞を閉じ込める技術を酵母に応用。近年、海外でも注目されている「発酵」に着目し、自分の好きな飲み物を、自分好みに発酵させて楽しむ商品としての提案がありました。審査委員からは、企業の持つ技術のイノベーティブな部分を、デザインを通じ、さらに上のレベルに昇華させた点が高く評価され、最優秀賞の受賞となりました。

※ これまでの受賞提案などのビジュアルデータをご用意しています。下記までお問い合わせください。

報道関係のお問い合わせ先: 株式会社電通パブリックリレーションズ

担当: 森 Tel: 080-2022-3730 E-mail: y-mori@dentsu-pr.co.jp

応募など一般からのお問い合わせ先: 東京ビジネスデザインアワード事務局(公益財団法人日本デザイン振興会)

〒107-6205 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5階

Tel: 03-6743-3777 E-mail: tokyo-design@jidp.or.jp

2020年度 東京ビジネスデザインアワード開催概要

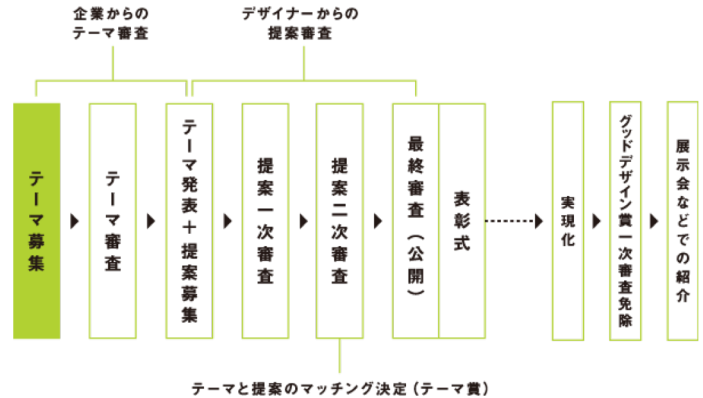
都内ものづくり中小企業の持つ技術や素材などをテーマとして公募した上で、デザイナーより新規用途開発とビジネス全体のデザイン提案を募るコンペティション。2012年に開始し、本年度で9回目。

東京都内の中小企業で、デザインを導入した新事業実現に意欲のある企業であれば業種を問わず、自社の技術や素材などをテーマとして応募することが可能。

「テーマ」と「提案」のマッチングが成立した事例については、アワード終了後1年間継続して、デザイナー、工学博士、弁理士などにより構成された審査委員、事務局によるアドバイス(商品開発、知財戦略、デザイン契約、販路開拓)を通じ、事業化・商品化・販路拡大を支援。

■スケジュール(予定)

| | |
|----------------|-------------|
| 企業からのテーマ募集期間 | 4月14日～6月25日 |
| テーマ発表 | 9月上旬 |
| デザイナーからの提案募集期間 | 9月上旬～10月下旬 |
| 提案の一次審査・二次審査 | 11月中旬～11月下旬 |
| テーマ賞発表 | 12月中旬 |
| 最終審査・表彰式 | 2021年2月 |



■応募資格 東京都内の中小企業または個人事業主

■賞・賞金 最優秀賞 1点(副賞:賞金50万円)
優秀賞 2点(副賞:賞金10万円)
テーマ賞 デザイナーとのマッチングが成立した各テーマにつき1点
※審査の結果「該当なし」となる場合があります。

■応募費用 無料

■募集期間 2020年4月14日(火)～6月25日(木)【当日消印有効】

■応募方法 ウェブサイトより募集要項・応募用紙をダウンロードし、必要事項記入および必要書類添付の上、東京ビジネスデザインアワード事務局に郵送してください。

○東京ビジネスデザインアワード事務局(公益財団法人日本デザイン振興会内)

〒107-6205 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウンタワー5階

TEL:03-6743-3777

E-mail:tokyo-design@jidp.or.jp

■主催:東京都

■企画・運営:公益財団法人日本デザイン振興会

東京ビジネスデザインアワードウェブサイト www.tokyo-design.ne.jp/award.html

【企業向け応募説明会開催】

■日時:5月27日(水)14:00～15:00(開場 13:45)

■内容:事務局よりテーマ応募に関する説明(説明会后、個別相談も受付)

■会場:インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

(東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウンタワー5階 デザインハブ内)

お申し込みはご出席者の所属、部署、役職、お名前(複数の場合はご参加人数)を記入の上、事務局までメールにてお送りください。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、延期または中止になる可能性があります。最新情報はウェブサイトなどにてご案内します。

「東京ビジネスデザインアワード」主な提案実現事例

これまでにマッチングした企業とデザイナーによる提案実現事例は18件。
販売商品が国内市場はもとより海外でも好評を博するなど、実績を重ねています。

「MASKING COLOR」 2012年度 テーマ賞

太洋塗料株式会社[大田区] × 小関隆一[RKDS]

乾くと剥がせる保護膜を作るための産業用塗料を、一般向けの「塗って剥がせる水性絵の具」として発売。これまでになかった新感覚の塗料として話題を呼びヒット商品となる。2015年にマスキングカラーPROを発表。

<https://maskingcolor.com/>



「FROM NOWHERE」 2014年度 最優秀賞・テーマ賞

カドミ光学工業株式会社[日野市] × 三浦秀彦、久保井武志[クラウドデザイン]

光学ガラスの特徴を生かした無宗教式にまつる「祈りの道具」。少子化や核家族化に伴って墓や仏壇を取り巻く環境が変わる中、現代のライフスタイルにあった新しい供養の様式を提案している。 <http://www.fromnowhere.jp>



「きえずぐくん」 2016年度 テーマ賞

細田木材工業株式会社[江東区] × 加藤陽子[株式会社GKダイナミクス]

東京多摩産材を使ったホワイトボードの提案。木材固有の素材感を生かした上で、滑らかに書き消しがしやすい塗装を施した製品。国産材の使用を増やすことで森林の環境保全を推進し、木材を使った心地よい環境作りに貢献することを目的としている。

<https://wood-kiba.com/woody-art-hosoda/kiesugikun/>



「irodo」 2017年度 最優秀賞・テーマ賞

株式会社扶桑[葛飾区] × 榊原美歩[株式会社GoodTheWhat]

さまざまな生地素材にアイロンなしで貼れる転写技術を用い、ユーザーが気軽にDIYやリメイクに活用できるシート。熱源を使わないため年齢を問わずに楽しめる。「生地をカスタマイズする」という今までにない新しい文化を発信している。

<https://irodo.tokyo/>



「香の具」 2018年度 優秀賞・テーマ賞

GRASSE TOKYO株式会社[江東区] × 清水覚、山根準、山根芽衣、安次嶺彩香

100%天然のエッセンシャルオイルと塗料を混ぜ合わせた新しい絵の具ブランド。絵の具の色を混ぜるように、自分で調香して、香りのしゅみを学ぶことができる。ブレンドという切り口で、香りを楽しみ生活に取り入れるきっかけを提案している。

<https://kanogu.tokyo/>



「METALFACE」 2018年度 最優秀賞・テーマ賞

株式会社技光堂 [板橋区] × 今井裕平、林 雄三、木村美智子、鈴木杏奈 [kenma Inc.]

樹脂素材に金属調の特殊印刷を施す技術を多面的に生かした、ビジネスモデルの提案。次世代のプロダクトデザインの課題を解決する画期的な技術で、現在、IT プロダクト向けのインターフェイス「METALFACE」として、プロジェクトが進行中。

<https://www.metalface.tokyo/>

